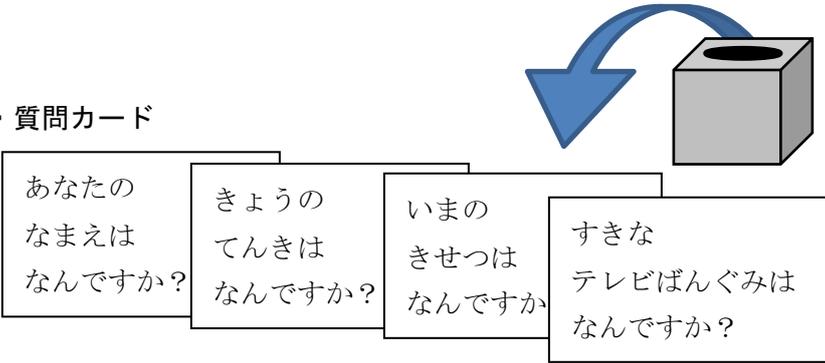


## ステップ1

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【3】会話の対応
タイトル	サイコロ会話
目的 身につけてほしい力	話している相手に注目する。自分の話す番を意識し、他者を意識して話す。
教材の概要  使用するもの	<p>ボール大のサイコロを投げ、出た面の質問に答えあう。1人が答えたら、次の相手にサイコロを渡して交代する。話す人を視覚的に意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面のそれぞれに質問が書かれたサイコロ</li> <li>・活動を発展できるように、サイコロの面に質問カードを貼りかえられるようにするとよい。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-right: 20px;"> <p style="text-align: center;"><b>あなたの なまえは なんですか？</b></p> </div> <div style="text-align: left;"> <p>質問内容 「今日の天気は何ですか？」 「好きな食べものは何ですか？」 「今は何月ですか？」 など児童生徒が答えやすいもの</p> </div> </div>
教材の使用方法	<p>①指導者はサイコロ会話のルールを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○サイコロをふって出た質問に答える。 ○サイコロを持っている人の答えをしっかりと聞く。 ○サイコロの順番を待つ。(複数で取り組む場合。)</p> </div> <p>②順番をじゃんけんなどで決める。 (指導者が名前、日にち、曜日などで指名してもよい。)</p> <p>③順番が回ってきた児童生徒からサイコロを投げて、出た面に書かれている質問に答える。 ★質問を読んでから答える。(質問は指導者が読んでもよい。) ★他の児童生徒へは、質問に答える人に注目するように促す。</p> <p>④答えたら次の児童生徒にサイコロを渡す。順に③を繰り返す。</p>
その他	指導者と児童生徒だけで行う場合は、指導者も児童生徒と同様に行う。児童生徒が複数の場合は補助や、見守りを行う。

## ステップ2

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【3】会話の対応
タイトル	質問ボックス
目的 身につけてほしい力	話している相手に注目する。自分の話す番を意識し、他者を意識して話す。
教材の概要	<p>質問ボックスから取り出した質問カードで質問をし合う。相手に尋ねる会話のやり取りを具体物を使って視覚化し、体験的に取り組む。質問内容はステップ1のサイコロ会話と同様に答えやすい内容を基本とする。</p>
使用するもの	<p>・質問カード</p> <div style="text-align: center;">  <p>The diagram shows a grey 3D box labeled '質問ボックス' (Question Box) with a blue arrow pointing to four white rectangular cards. Each card contains a question in Japanese:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あなたのなまえはなんですか？</li> <li>きょうのてんきはなんですか？</li> <li>いまのきせつはなんですか？</li> <li>すきなテレビばんぐみはなんですか？</li> </ul> </div> <p>・質問ボックス（カードが複数枚入り、中身が見えないように取り出せるもの）</p>
教材の使用方法	<p>①指導者は質問ボックスのルールを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○質問ボックスを持っている人が質問カードを1枚取る。          ○相手に質問をする。（読み上げる。）          ○質問をしたらカードを相手に渡す。          ○カードを受け取ったら質問に答える。          ○質問に答えたら、順番を交代する。</p> </div> <p>②順番をじゃんけんなどで決める。          （指導者が名前、日にち、曜日などで指名してもよい。）</p> <p>③順番が回ってきた児童生徒からカードを取り、質問を行う。          上記のルールに従い取り組む。          ★会話のやり取りを具体化するためにカードの受け渡し手順が難しくなっている。ルールを覚えるまで、指導者が補助したり、省略してもよい。</p>
その他	指導者と児童生徒だけで行う場合は、指導者も児童生徒と同様に行う。児童生徒が複数の場合は補助や、見守りを行う。

### ステップ3

大項目	②言語の受容と表出
小項目	【3】会話の対応
タイトル	会話カード
目的 身につけてほしい力	話している相手に注目する。自分の話す番を意識し、他者を意識して話す。
教材の概要  使用するもの	<p>会話カードを使い、自分のことを話すことと、相手に質問することをセットで取り組む。一方的に思いを伝えるだけでなく、相手にも話をする機会を作ることをカードを使って具体化して学ぶ。</p> <p>・会話カード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>わたしの すきな たべものは ○○です。 あなたの すきな たべものは なんですか？</p> </div> <p>食べ物、色、勉強、遊び、など児童生徒が伝えやすく、答えやすい内容を会話カードにする。5枚から10枚程度作成する。</p>
教材の使用方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>①質問カードを机の上に並べる。</li> <li>②順番をじゃんけんなどで決める。 (指導者が名前、日にち、曜日などで指名してもよい。)</li> <li>③順番が回ってきた児童生徒からカードを取る。</li> <li>④会話カードに書かれたことについて、自分の答えを当てはめて発言し、相手に質問を行う。</li> <li>⑤相手は質問に答える。</li> <li>⑥相手が質問に答えたらカードを手元に伏せて順番を交代する。 ③④⑤を繰り返す。</li> </ol>
その他	<p>指導者と児童生徒だけで行う場合は、指導者も児童生徒と同様に行う。児童生徒が複数の場合は補助や、見守りを行う。 会話カードは児童生徒の実態に応じて内容を考える。</p>